

コロナ禍における移動や施設利用等に関する調査（概要）

1. 実施概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者、障害者等の日常生活や社会生活において、移動や施設利用への影響が生じていることが推察されます。そこで、ネットワーク会議の市民委員を対象に、移動や施設利用の状況の変化や具体的な困りごとについて把握するためのアンケートを実施しました。

■実施概要

| | |
|------|---|
| 日 程 | 令和2年12月 調査票送付 |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段の変化 ・ 移動に関する困りごと ・ 施設の利用に関する困りごと ・ 会議等への参加状況及び参加の方法（対面・WEB） ・ 会議等の参加に関する困りごと ・ その他 |
| 回答者 | 6名 |

2. 主な意見（基本構想改定に係る内容を中心に抜粋）

| 項目 | 意見 |
|------------------|--|
| 移動手段の変化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通機関の利用を敬遠し、自転車や徒歩、タクシーに切り替えている ・ 外出しにくくなり、引きこもり傾向にある人がいる |
| 移動に関する困りごと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスが減便して不便を感じている ・ 鉄道車両は換気のため温度が保てず寒かったり暑かったりする ・ レモンキャブの利用が制限され、病院以外に使用できない ・ 視覚障害者はガイドヘルパーの確保が難しくなった ・ 券売機のタッチパネルやエレベーターのボタン、エスカレーターのリフト等に触れることに不安を感じる（視覚障害者） |
| 施設の利用に関する困りごと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の利用制限（時間・人数制限や予約制）により外出機会が減少した ・ 寒い時期に公園など屋外しか活動場所がない ・ オンライン予約が難しい人は施設が利用できない ・ 医療施設では対面での診療が受けづらい時期があった（精神科） ・ マスクやアクリル板で店員の声が聞き取れない ・ 商品を手に取って確かめられない（触れると買わないといけない） |
| 会議等への参加状況及び参加の方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 回答した全員が会議等に参加している ・ 対面会議、WEB会議ともに実施している（老人クラブは対面のみ） |
| 会議等の参加に関する困りごと | <ul style="list-style-type: none"> ・ 画面が見えないので理解しにくい（視覚障害者） ・ WEB会議の知識が必要。通信トラブルなどがあり、聞き取りづらい |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ マスクができない障害特性の人が外出の機会を制限されている ・ 外出機会が激減したことにより廃用性などの二次障害を起こす人がいた ・ 子ども連れで行ける外出先やイベントが無くなり、子育ての負担が増した ・ 漠然とした不安や、コミュニケーションの減少によるストレス、気力低下 |